

CBR250R の開発のねらいは、

Sport Quarter for One World

CBR250R は、Honda の考えるスポーツバイクとしての仕様や装備を、250cc の車体に凝縮して作り上げたグローバルスポーツモデルです。

世界中のエントリーユーザーをはじめとした幅広いお客様が、世界各地の市街地からワインディングまでの道を、オールマイティーに楽しめる次世代オンロードスポーツを目指しました。

開発チームが議論を重ね、導き出した指針は—

- ・ 日常で気軽に使えるとともに、操る楽しさを体感できること
- ・ 走りの楽しさと低燃費を兼ね備えること
- ・ 取り回しに優れた車体サイズで、

フルカウルを装備し、スポーツバイクを所有する喜びを満たすこと

Honda は、世界中の多くのお客様に体験していただけるスポーツバイクの実現を目指す中で、日本市場における維持費や売価、動力性能といった“敷居の低さ”も重要視し、排気量を 250cc(Quarter) に定めて開発しました。

時代の変化とともに、エントリー層へのバイクに対する情報は増えています。また、性能を余すところなく楽しみたいという大型二輪に乗車した経験のある方の要求にも、最新の Quarter はお応えするべきと考えました。

そこで CBR250R は、たとえエントリーユーザーであっても操る楽しみを体験できるよう、エンジンや車体からタイヤにいたるまでを新開発。操縦安定性やライディングポジション、スポーツバイクを所有する喜びを感じていただけるデザインなど、すべてに開発チームの想いが込められています。

またがった瞬間からスポーティーな走りを予感させるモデルでありながら、使いやすさやお求めやすい価格の実現も掲げ、ベストバランスを追求しました。

従来 of 250cc 単気筒モデルに対して、アクセルを開けた瞬間から感じるスムーズな加速感や回転の伸び感などのエンジンのキャラクターから、パッセンジャーの快適性に配慮したりアグリップまで、幅広いお客様に満足いただける仕様と装備を目指しました。